

報告第18号

平成29年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、平成29年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価について、別紙のとおり報告する。

平成30年9月18日提出

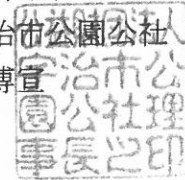
宇治市長 山 本 正



30公宇公第173号
平成30年6月29日

宇治市長 山本 正 様

所在地 宇治市広野町八軒屋谷25-1
法人名 公益財団法人宇治市公園公社
代表者氏名 理事長 吉田 博



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項の規定に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	公益財団法人 宇治市公園公社	設立年月日	昭和 63 年 7 月 11 日
公益財団法人への移行年月日			平成 22 年 10 月 1 日
基本財産	30,000千円 (移行前 30,000千円 うち市出えん・出資額 30,000千円 出資比率100%)		
設立目的	宇治市における都市緑化推進事業及び公園緑地事業の発展振興を図り、市街地の緑化及び緑地保全を促進するとともに、都市公園等の円滑な管理運営及び健全な利用を通じてスポーツ・レクリエーションの振興を図り、もって都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与する。		

2. 役職員等の状況

		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度				
		市職員	市OB	市職員	市OB	市職員	市OB			
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	2	2	3	2	2	2	3	2	2
職員	管理職	5	0	5	6	0	5	6	0	5
	一般職	2	0	0	1	1	9	0	1	1
	計	2	5	0	6	2	5	0	6	2

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
緑化推進事業	都市緑化基金の造成、管理及び運営 都市緑化の推進を図るための調査研究 公園及び緑地の保全利用に関する啓発 自然環境の保護及び整備 植物文化の普及及び向上
都市公園・都市公園施設の管理運営事業	宇治市植物公園、西宇治公園・巨椋ふれあい運動ひろば及び黄檗公園・東山公園の管理及び運営
スポーツ・レクリエーション事業	スポーツ需要の拡大、及び健康の維持増進のための健康づくり講座

4. 財務状況

1) 収支・正味財産の状況

(単位：円)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収 入	350,123,037	367,028,178	360,494,540
収益事業収入等	17,643,477	17,602,083	17,271,625
市 支 出 金	332,479,560	349,426,095	343,222,915
人 件 費	112,973,254	124,626,034	128,920,752
事 業 費	219,506,306	224,800,061	214,302,163
支 出	349,592,858	366,758,593	360,314,857
人 件 費	124,420,998	136,295,713	140,566,079
事 業 費	225,171,860	230,462,880	219,748,778
当期収支差額	530,179	269,585	179,683
当期正味財産増減額	△317,016	22,629,898	△485,123
期末正味財産合計額	148,652,526	171,282,424	170,797,301

2) 貸借対照表

(単位：円)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
資産合計	189,364,995	214,613,630	218,969,538
流 動 資 産	11,570,279	9,911,393	12,071,960
固 定 資 産	177,794,716	204,702,237	206,897,578
負債合計	40,712,469	43,331,206	48,172,237
流 動 負 債	19,793,843	19,622,196	21,560,855
固 定 負 債	20,918,626	23,709,010	26,611,382
正味財産合計	148,652,526	171,282,424	170,797,301
基 本 財 産	30,000,000	31,415,343	31,211,343
その他正味財産	118,652,526	139,867,081	139,585,958

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
補 助 金	112,973,254	124,626,034	128,920,752
委 託 料	219,506,306	224,800,061	214,302,163
その他(分担金等)	0	0	0
計	332,479,560	349,426,095	343,222,915
貸 付 金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
人件費比率	人件費計÷支出計	35.6%	37.2%	39.0%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	78.5%	79.8%	78.0%
流動比率	流動資産÷流動負債	58.5%	50.5%	56.0%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	0%	0%	0%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	<p>当社は、都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与することを目的とし、都市緑化事業に取組み、緑豊かなまちづくりとスポーツ・レクリエーションの振興と健康づくりを推進する事業の発展的展開を図ってきました。また、公益法人として、公益目的事業の推進に努めております。</p> <p>「宇治市植物公園」については、都市緑化の拠点として、市街地の緑化保全の推進及び市民の緑化意識の向上に寄与し、併せて環境保全、防災、景観、レクリエーション等の機能を有する「みどりの憩いの場」としての役割を果たしてきました。</p> <p>都市緑化の魅力を高め、豊かな生活の核となる公園として、公益性の強化、顧客満足度の向上、企業倫理の確立を踏まえ、緑の情報発信、緑の空間の創造、入園者の増加、参加型の事業の促進、施設の充実、子ども対象の事業企画、高齢者・身障者の対応、生物多様性の保護等積極的な事業・施策展開を図り、公園管理運営士の資格取得等、緑化推進を基軸として多種多様に取組んでおります。</p> <p>「運動公園施設」については、体育施設運営士、プール衛生管理者等の有資格者の職員を配し、安全安心な管理のもと、市民サービスの向上とスポーツ・レクリエーションの振興を基調に置いた貸館施設事業の運営にあたっております。</p> <p>加えて、公園公社の自主事業として健康運動教室を実施し、市民の健康と地域の生活福祉の増進にも努めています。</p>
効率性	A	<p>「公社事務局」については、振込業務の電子化、事務の簡素化と効率化を実施し、一元的な会計処理の電算化も図っております。</p> <p>「宇治市植物公園」については、限られた人員の中で、数多くの展示会・講習会、イベントを実施するため、フレックスタイムの導入による柔軟な体制の構築や、これまで培ってきた経験と知識、データと手法を最大限に活用して事務の効率化を図ってきました。</p> <p>「運動公園施設」については、施設管理や運営の有資格者を配置することにより、専門家の立場から効率的・効果的な業務の推進を図ってきました。</p>

<p>組織運営 健全性</p>	<p>B</p>	<p>公益法人の核として、ガバナンスの強化を図り、組織間の連携を図るとともに、教訓に基づいた法令遵守規程により、更なるコンプライアンスの強化に努めております。</p> <p>さらに、法に基づく公益法人としての監査の対応や税理士の専門的なチェックを行ってきました。</p> <p>また、接客マニュアル、救急マニュアルと緊急時対応マニュアルに基づく、顧客サービスの向上対策、安全安心な施設利用と危機管理体制の確立、及びホームページによる情報発信と法人情報の公開による経営の透明性の確保を図っております。</p>
<p>財務 健全性</p>	<p>B</p>	<p>指定管理者の指定を受け、補助金、指定管理料の中で施設の管理運営を行っていますが、一方歳入面では、利用収入を上げる継続した努力が不可欠であります。</p> <p>そのため、とりわけ植物公園では、施設等のPRを始め、タイムリーな企画を創意工夫し、参加型の事業を中心とした多様で積極的な事業展開を図り、また、有料公園施設利用者の施設利用率の向上を図るため、各種健康教室の開催など、事業企画による利用料の増加への努力・工夫を間断なく行ってきました。</p> <p>また植物公園の入園者数は、天候に恵まれ前年度と比べて約13,000人の増加となりました。宇治市第5次総合計画の目標値である年間入園者数13万人の達成に向けて、今後とも、これまでの事業を絶えず考察・評価し、事業の取捨選択を実施することにより、更なる効果的な事業の推進を図ることといたします。</p> <p>また、新電力へ切り替え、デマンド測定記録機器の設置や自動販売機の省エネタイプへの転換などによりコストの削減も図っております。</p> <p>なお、収益事業の収益は、公益目的事業の支出に振替えており、公益目的事業は、これまで以上に事業の充実が図れるところであります。</p>
<p>総合評価</p>	<p>B</p>	<p>「指定管理者」として、市民サービスの向上と経費の削減及び効率的な運営の推進に努めており、一方、「公益法人」として、健全で透明性の高い経営と施設の運営を通して、効果的な公益目的事業の実現を図っております。</p> <p>管理運営は良好と考えますが、更なる入園者の増加と利用率の向上対策を図ることが、重要課題であると考えております。</p> <p>このことから、より一層の収益と市民サービスの向上に向けた経営マネジメントを継続して行い、コストを意識した業務を行うとともに、市民ニーズに合った事業の企画、展開を図ってまいります。</p> <p>また、植物公園では、天候に左右されない企画を一部実施しておりますが、さらに、NPO法人や学校との連携を深めた事業を積極的に実施していく考えであります。</p>

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い